

## 令和6年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	17	議席 番号	1	氏名	近 藤 千 鶴 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1				富士宮市民憲章について	(1) 富士宮市民憲章は昭和42年に制定され、57年が経過した。時代の変化に伴い、社会情勢に即した見直しが必要ではないかと思う。特に「明るい家庭をつくり、健康な青少年を育てましょう」という表現は結婚を選ばない人が増えている現在において、時代に合わない部分があると考えられるがどうか。	市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
2				女性議会の開催について	(1) 少子化が進む中、子育て世代の女性や介護や地域で生きている女性たちの生の声を市政に反映させる取組が必要だと考える。富士宮市でも女性議会の開催を検討できないか。	市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
3				農業公社の設立について	(1) 農業の担い手不足や耕作放棄地の拡大抑制に向け、富士宮市独自の農業公社を立ち上げることを提案する。農地の除草や耕うん作業などの農地管理の受託、また土地所有者と就農希望者の仲介に取り組むことで、地域農業の活性化を目指すべきと考えられるがどうか。	市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
4				富士宮市の防災対策について	(1) 女性下着、防犯ブザー、赤ちゃん用おしりふき、おむつ処理袋などの備蓄はできているか。 (2) 災害時の生活用水確保のため、井戸掘削費補助金制度の導入を提案する。静岡市ではこの制度を今年導入しており、山間部や河川の少ない地区などでの生活用水確保に効果的とのこと。また、井戸の登録制度の導入も含め、富士宮市でも早急に検討すべきと考えられるがどうか。	市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長